



森ボラ 通信

NPO 法人

第 264 号 2024 年 5 月 20 日発行
北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

■ 活動報告

◆ 2024年度第1回親子森林教室活動報告

今年で9年目を迎える親子森林教室が4月21日（日曜日）にスタートしました。今年度の大きな変更は森しり隊の隊長が清澤さんから矢野さんに代わった事です。森しり隊のメンバーも大きく変わり継続会員は1家族のみで、新たに10家族15名の森しり隊員（子供）が加わり合計11家族27名（保護者11名と子供16名）で構成されます。

少し寒さの残る澄川の森に集合時間の30分以上前から続々と参加者が集まり松藤さんのユーモアあふれる司会で始まり緊張していた参加者の親子もすっかりリラックスした様子です。

開会の挨拶で檀棒さんからは、澄川の森が札幌市の都市環境林で市から管理を委託され手入れを始めて今年で22年目になる事や面積（約88ヘクタール）の大きさ等の話が有りました。続いて各家族の簡単な自己紹介と松藤さんから協会の紹介が有りました。続いて高橋さんから活動場所の説明と活動目標、1年間のスケジュールを紹介して貰い、大窪さんから森での約束事と安全確保の説明と熊や蜂の対策等の説明、私（丸尾）からはネームプレート作成に関する説明を行いました。

その後全員でラジオ体操を行い早春の森歩きがスタート。コースは小屋前広場を出てキャリコ橋から樹木園を経て上流橋を渡る1周約1.3キロのコース。案内は清澤さんと西野澄子さんが行き樹名、特徴等をわかり易くお話ししてくださり、花が咲く前の葉を見つけると、手持ちの綺麗な花の写真を見せて説明します。それを聞いていた親御さんも思わず「へー、ホー」と頷いていました。（勿論、私も知っているふりをして頷いていました）出発時には曇り空で少し肌寒い感じでしたが、中間地点の第一樹木園付近では太陽が顔を出して暖かくなってきました。

その後上流橋でシイタケの採取（ここでは少ししか取れなかった）をしてからエゾサンショウウオの卵を見て小屋前広場に戻り昼食タイム。歩きながら私が感じた事は今年の参加者は隊列を乱す人が少なく、歩きながらの樹や花に関する質問も昨年に比べて少なく大人しく感じました。

昼食を食べてから小屋前広場近くのホダ場でシイタケの採取を行い、此処ではスーパーの籠が一杯になるほどの収穫が有りました。このシイタケは参加した11家族で山分けして持ち帰ってもらいました。午後の活動は荒船さんが先生になりキノコについてと植菌の仕方、ホダ木の管理を勉強してから本日のメインイベント植菌作業を行いました。3班に分かれてホダ木に電動ドリルで穴を開けてナメコとシイタケの駒菌を打ち込みます。私が担当した親子は初めて使う電動ドリルにビクビクしながら穴を開けていましたが、慣れると穴あけ、植菌共にスムーズに作業は進みホダ木の仮伏せまで無事に終了しました。活動終了後に今回の活動で楽しかった事を聞いたところ、子供は殆ど



森しり隊家族と協会員全員集合！



早春の森歩き：何かあるかなー！

植菌が楽しかった。親は自然に触れて水芭蕉が綺麗で感激したなどの感想を貰いました。最後にキノコの授業で使ったシイタケを「王様じゃんけん」で分けて午後2時前に活動を終了し解散となりました。私は2020年の6月に森ボラに入会して4年目ですが、今回の親子森林教室で初めて準備段階から運営スタッフに加わり、この森林教室では沢山のスタッフが準備段階から沢山の意見を出し合い協議して運営している事を知りました。これからも微力ですが積極的に活動して活動にかかわっていきたいと思います。(文・丸尾)



キノコの植菌作業：頑張っー！

◆ 澄川南小 “マイツリー活動2024” がスタート！ 5月10日、4年生が春の森を観察



班に分かれてマイツリーの観察

5月10日、新緑鮮やかな澄川環境林北地区に子どもたちの元気な声が久々に響き渡りました。「わあ、カタツムリがいた」「これセミの抜け殻かな?」。澄川南小学校4年生66名が3名の先生に引率されて、昨年設定したマイツリーの生育調査と春の森の観察にやって来て、森ボラがこれをサポートしました。

活動を開始する前に、森ボラ側の責任者である大窪さんから森の活動での注意事項として、ピンクテープで囲った倒木と枯れ枝の落下危険区域には入らないこと、蜂やダニに注意することを説明してから活動開始です。子どもたちは12の班毎に分かれ、それぞれのマイツリーの場所に行き、周長を測り、その後木の周辺を

歩き回って森の春の様子を観察しました。

今回から周長測定では木の測定位置を固定するために木に目印を付けて行いました。

また、いくつかの樹名板が割れており修復が必要なことが判りました。

1時間程活動を行った後に再度集合して、子どもたちから質問を受けました。『シラカンバは10mほどに成るのに何年掛かりますか?』

……シラカンバは空き地にいち早く芽を出し生長が早い木ですが、反面寿命は短い木です。

(10m生長するのに何年掛かるか確たる答えは不明ですが) 60cmほどの植えたシラカンバが1年で倍近く伸びた例もあります。

『この森には鹿の他にどんな動物がいますか?』

……キタキツネ、エゾタヌキ、エゾリス、エゾサンショウウオなどがいますし、歓迎しませんがアライグマもいます。ヒグマはこの森で見たことはありませんが、近くの森には出没していますので気を付けましょう。最後に大窪さんから、近くのハウチワカエデを指して、「この木に縦に1mのテープを張りました。今後、このテープがどうなるか観察してください。そして木はどのように生長していくのかを考えてみてください」と呼びかけて、第1回の森の活動を終了しました。



この日の活動をスタートに、2024年度の澄川南小学校の“マイツリー活動”が始まりました。2014年に始まったこの活動も11年目を迎えます。事前に学校と打合せを行い、今年度の活動は5月から来年2月までに、3年生から6年生まで延べ668名の児童が10回に渡り澄川環境林北地区を訪れ(この他3回の校内活動)、マイツリーの設定と観察、四季ごとの森の観察を行う予定で、森ボラはその活動をサポートしていくことになります。(文・清澤)

◆今後の草刈りの仕方

各地の成長調査や動物による食害状況および昨年の南紀研修旅行などで得た知見をもとに、今後の草刈りの方法について幹事会で話し合い、当面の間下表の方法で進めることとしました。今後さらに状況を観察して修正を加えていきたいと思ひます。(文・事務局)

手 法	方 法 概 要	摘要箇所	備 考
ツリ- Shelter	Shelter-内部の除草	野幌道・国有林 烏柵舞、水明郷 澄川、有明	草が繁茂しているShelterを 20 cm程持上げ、草だけを手カマを利用して除去。
坪刈り	苗木の枝葉先から 50 cm程度	野幌道・国有林 烏柵舞、水明郷 澄川、有明	2m 以上の間隔で植栽した針葉樹列
筋刈り	幅 70 cm程(人が通れるように)	烏柵舞、水明郷	成長調査列の中央部
全面刈り	植栽列幅または区域全面	野幌道・国有林 烏柵舞	これから植栽する場所、列
防獣網(防草シート有)	網の両側 50 cm程	野幌道有林	2023年以降の植栽地は不要
防獣網(防草シート無)	網の両側 50 cm程、網内の植樹苗は坪刈り	野幌道有林 澄川、有明	
キャリコ道	幅 2.5m 程	澄川、烏柵舞、水明郷	
歩道	幅 1.5m 程	澄川、有明 野幌道有林 野幌国有林	ダニ除け対策 (83 小班の通路部分) (49 林班の通路部分)

* 自生稚樹は植栽した苗木を著しく阻害しているものは除伐し、それ以外は放置。

* 草刈りの草丈は、草花・稚樹への影響を考慮して地面から 15~20 cm程とする。(笹は歩きやすいように地際から伐採)

■ 澄川の自然 57

コガモ(カモ目・カモ科)

マガモ属、鳥類の一種。カモの仲間では名前の由来は「小型のカモ」の意、全長38cm。

日本のコガモは極東ロシアが繁殖地と推測され、秋の始め頃から姿を見せ、春は5月の連休過ぎまで見られる。我が澄川の夏には姿を消してしまう幻の様な沼地によくも飛来してくれたと嬉しく思っています。

4月26日、三橋さんが撮影した時には子鴨が一緒だったと言っていました。急いで子供を育て、5月中旬には旅立って行ったのでしょう。

日本では冬鳥で池沼、湖、河川で藻類を食べたり、水田の落ち穂を採食する。

この澄川の沼地には、毎年オシドリやマガモが飛来しますが、よくもこんな小さな水面を探して飛来してくれるものと毎年楽しみにしています。

写真/三橋・文/西野(澄)



■今月の幹事会

出席者(5/8):大窪・荻田・檀棒・加藤・清澤・松藤・矢野・西野(澄)・平・早坂・老田・丸尾

1. 2024年6月、7月活動スケジュール(6月幹事会6/5(水)):了承
2. 2024年度4月会計報告:了承
3. 2024年度多面対策交付金事業4月報告:了承
4. 2024年度親子森林教室第1回報告:既存のトイレを嫌がる児童がいました。
5. 物品・機材購入基準(案):一部修正して成案とする。
6. 現場報告
 - ・澄川整理伐状況:了承
7. その他
 - ・森ボラ新ホームページ進捗報告:4月の訪問数1,722件。了承
 - ・木道改修スケジュールおよび資材購入:5月末に終了予定。了承
 - ・今後の下草刈り方法の提案:別途ボラ通に記載。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
4月16日(火)	澄川	13	木道補修箇所調査、親子森林教室準備
4月16日(火)	野幌道有林	5	防獣網復旧、破損箇所補修
4月19日(金)	ラルズビルB1会議室	11	臨時幹事会(総会資料の確認)
4月21日(日)	澄川	11	第一回親子森林教室(開校式、春の森歩き、植菌)
4月24日(水)	野幌道有林	11	食害防止網・ツリシュルター補修
4月26日(金)	澄川	17	木道補修材の運搬、ホダギ準備、植菌
4月29日(月)	澄川	12	コモドの森活動、木道補修準備、上流橋補修
5月2日(木)	澄川	14	機器整備、植菌、苗畑整備、観察会
5月4日(土)	澄川	19	コモドの森活動、植菌、木道整備、澄川南小準備
5月7日(火)	澄川	13	木道整備、杭の焼入れ、ホダ場整備
5月8日(水)	ラルズ生活研究センター2F	12	幹事会
5月10日(金)	澄川	12	木道整備、澄川南小4年生観察会支援、運材
5月12日(日)	澄川	11	木道整備、E7,8作業道整備、運材
5月13日(月)	札幌エルプラザ2F 環境研修室	28	第22回定期総会
5月15日(水)	野幌国有林	8	49林班植樹準備、50林班現地確認

■退会者 野田 耕市さん(2009年入会)